

西高だより

2009年11月2日創刊 通算160号



西仙北高校
広報紙 Vol. 4

2022年7月21日発行



7月10日(日)第一〇四回全国高等学校野球選手権秋田大会の二回戦が秋田市の八橋球場で行われました。対戦相手は金足農業高校です。本校野球部は、この春から男鹿海洋高校・大曲農業太田分校・六郷高校と四校連合を組み、練習に励んできました。合同練習ができたのは、基本的に週末のみ。四校連合チームとして県内外の高校との練習試合を繰り返し、チームとしてのまとまりを徐々に培い、今現在持っている力を一杯に発揮していました。



熊谷唯斗さんの活躍に大盛り上がり!!!



四校連合チーム 大健闘



一学期期末考査があった週の日曜日、未だにコロナ感染症が治まらず、大声を出しての応援も制限される中でしたが、野球部の応援に大勢の生徒がスタンドに集まりました。吹奏楽部(本校生徒と六郷高校生徒、男鹿海洋高校の生徒と顧問の先生方の合同バンド)の演奏に合わせて、メガホンを打ち鳴らして声援を送り続けました。序盤の試合展開を見ていると「もしかしてあの金農に・・・」と期待を抱き、手に汗握りながら大いに盛り上がりました。

7月10日(日)野球部日誌より

結果としては負けてしまったけれども、これまでで一番いい試合だったし、藤川さん(太田分校)は一番いいピッチングだったなと思います。また、唯斗さんや猪本さんのプレーにも光るところがありましたし、急に出場することになった一年の金さんの頑張りも印象的でした。

この二年半でチームのみんながとても成長していると感じました!

みんなに出会えて幸せでした!

今までありがとうございます!

3A 大釜 彩音(マネージャー)

5回終了時点で0-1という緊迫した試合展開でしたが、6回裏に失策が絡み、踏ん張りきれず9失点してしまい、結果としては10-0(6回コールド)で敗れてしまいました。しかし、本校生徒は5人ともハツラツとしたプレーで球場を沸かせてくれました。応援ありがとうございました。(野球部監督 佐藤 俊平)

特活だより

吹奏楽部

7月9日(土) 全日本吹奏楽コンクール第64回秋田県南地区大会が行われました。六郷高校の吹奏楽部と共に9人で合同の部に出場しました。演目は7曲の小曲から成る「ルーミア民族舞曲」のうちの6曲です。お互いの学校でパート練習を重ね、本番までに合奏できた日数はほんの数日でしたが、久しぶりの有観客のホールで演奏することができました。成績は銀賞で全県大会に進むことは叶わず3年生はこの大会で引退することになります。残った部員は2名となりますが、顧問も含めて3名で様々な形式での音楽を楽しみながら活動をしていきたいと考えています。



地域探究

7月11日(月)「過去の災害やハザードマップを学び、地域の防災・減災活動を考える」をテーマに、秋田大学地方創生センター地域協働・防災部門 教授の水田敏彦先生を講師に招き、講演をしていただきました。

《講演後の生徒の感想より》

改めて地震は怖いと思いました。日頃から災害への備えをした方が良く分かったので、帰宅したら家族と話合ってみたいと思いました。また、地震についての正しい知識を増やし、いざというときに行動できるようにしたいと思いました。

1A 伊藤 咲

自分は、似たような言葉の「震源・震央・震源地」の3つの違いを知ることが出来ました。震度5弱以上になると立っていることが難しく周囲の物も倒れるなどの被害が出ると聞き、災害の恐ろしさを強く感じました。そして、この講話は自分の命を守るために必要なことだったと思いました。

1A 小松 弘人

日本は世界の中でも地震が発生しやすい国であることや、秋田県内で起きた地震も震度が大きければ、遠く離れたところでも被害が出ることを知りました。また、防災マップを確認し、浸水の可能性や避難場所の確認等も大切だと思いました。

1A 佐々木 大聖

あきた県庁出席前講座 インターネットの健全利用について

7月12日(火)、秋田県教育庁生涯学習課の森川勝栄氏を講師に迎え、インターネットの利用について講座を実施しました。



インターネットの活用は当たり前の時代となり、活用することが求められる時代になったことや便利である反面、使い方を間違えると危険が伴うこと。だからといって使うことを恐れずに使いながら「楽しく安全に使うコツ」を身につける必要があること等について具体例を交えながらお話いただきました。

超スマート社会の実現やこれだけICTが活用される時代になっても、新卒の人に求められる能力がコミュニケーション能力だということ、LINEやFacebookやTwitterの違いなど、今まで知らなかった情報を知ることができました。また、ネットではお互いの顔が見えない状況でさまざまな人が発信をしています。その中で、理解・共感する力が求められていると改めて感じました。何も考えず共感するのではなく、一度自分の中で考えてから上手に活用していきたいです。最後に話をされた4つの大切なことを今日から実践していきたいです。

3A 藤原 咲良(代表挨拶)

文月の行事

- 1日 マナー講習(2年)
- 4~7日 期末考査
- 9日 吹奏楽コンクール
- 10日 甲子園予選
- 12日 ネット健全利用について
- 19日 就職活動支援セミナー(3年)
- 21日 終業式

○校長先生のお話より(抜粋)

高校の、雑草研究部を題材にしたマンガがある。雑草のあり方からも、私たちは人間や社会のあり方を考えることが出来る。夏休みは考え方や見方を広げる良い機会だ。勉強の他に普段出来ないものに触れて、広い世界に思いを馳せて欲しい。

来月の予定

- 1日 インターシッフ事前講習(2年)
- 2~4日 インターシッフ(2年)
- 5日 インターシッフ事後指導(2年)
- 12・15・16日 学校開庁日
- 22日 二期期始業式
- 23日 体育祭
- 26日 西高カジュアルデー

ウクライナの子どものための

命を守るための募金について(報告)

日本ユニセフ協会へ
募金額 3,218円を送金しました。

(令和4年7月21日現在)
ご協力ありがとうございました。